



## 略歴

氏名：竹村 晃典

所属：千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室

## 学歴

2010-2014年 千葉大学 薬学部 薬科学科

2014-2016年 千葉大学大学院 医学薬学府 総合薬品科学専攻 修士課程

2016-2019年 千葉大学大学院 医学薬学府 先端創薬科学専攻 博士課程

## 職歴

2019年4月-2020年7月 千葉大学大学院 薬学研究院 国際創薬学研究室 特任助教

2020年8月-現在に至る 千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室 助教

## 趣味

野球（千葉ロッテファン）、テレビ（とくに深夜枠）、読書（わずかに）

講義タイトル

薬物性肝障害研究の進歩と今後の展望

## 講演要旨

薬物性肝障害（DILI）は新薬の開発中止や医薬品の市場撤退につながるため、適切に DILI 発症を予測する必要がある。これまでに蓄積された研究から、いくつかの評価項目を用いることで臨床での DILI リスクの予測可能性を示した。一方で、そのリスク予測精度には改善の余地があり、従来とは異なる視点で肝障害の発症過程をとらえる必要がある。このような点について我々が報告した結果を踏まえて概説したい。